

事業計画書

事業名	私たちの用水を守り、伝える事業～五郎兵衛用水、四ヶ用水、常木用水～
実施箇所	佐久市甲字宮下 15 佐久市岩村田字新谷 3415
実施期間	事業開始予定年月日 平成27年4月1日
	事業終了予定年月日 平成27年9月30日
事業概要	<p>&lt;事業の目的&gt;</p> <p>古くに開削された農業用水は、農業のみならず、市街地に潤いをもたらす景観用水であり、また、防火用水でもあり市民生活とは切っても切り離せない役割・機能を持っています。</p> <p>水路の維持管理は、土地改良区、水利組合等、農家が行っていますが、近年、ゴミの投棄が多く、維持管理に苦慮しています。また、市民に溶け込んでいる用水ですが、市民の皆さんは、その水が「どこの河川から取水されているのか」、「どのように維持管理されているのか」、「開削の歴史はどうだったのか」などについて知られていない状況です。今後将来にわたり、この用水を適切に維持管理し、次の世代に引継いで行くためには、市民の皆さんの維持管理や開削の歴史などについてご理解いただき、大切に守っていただきたいと思えます。</p> <p>佐久市北部には、水田約500haを潤す四ヶ用水、常木用水が流れているが、これらの水路は、今から約400年前に、佐久市浅科地積の五郎兵衛用水と共に市川兵衛翁の手により開削された用水路であり、現在の佐久市の礎となる、開拓史を語る上で欠かせない重要な用水です。</p> <p>このように重要な資源である2つの用水路ですが、その知名度は低く、貴重な地域資源が埋没しているのが現状です。</p> <p>この現状を改善し、水路の重要性や歴史的背景を一般市民の方々にも理解して頂くことは、水路の維持管理を適正に行い、その姿を永く後世に伝えていく上で非常に重要な事です。</p>
	<p>&lt;事業の内容&gt;</p> <p>1. 子供たちの理解 佐久市教育委員会との連携により、郷土の歴史において、水路の歴史と維持管理について教材としていただく。</p> <p>2. 市民の理解 3つの用水路の関連性や歴史的背景を学ための啓発資料とするため、現地に足を運んでもらえるようなパンフレットを作成し、机上の学びから現場での体験に繋げることを目指します。</p>

	<p>3. 講演会の開催</p> <p>前五郎兵衛記念館学芸員であり、市川五郎兵衛翁についてその資料から長年、研究に携わってきた斎藤洋一氏を講師に迎え、講演会を開催します。</p>
	<p>4. 啓発看板、石碑の設置</p> <p>堰の取り入れ付近には、歴史、機能、頭首工の構造、維持管理等を説明する啓発看板を設置し、市民の理解を深めたい。</p> <p>また、石碑については、3つの用水を拓いた市川五郎兵衛翁の功績を永く後世に伝えるため、3つの水路から拓かれた新田が見渡せる高台に設置します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>イメージ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>看板設置予定地</p> </div> </div> <p>&lt;事業の効果・アピールポイント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業用水路の役割、大切さ、維持管理（ゴミも含めて）の困難さ、重要性を理解して頂く。</li> <li>・佐久平の開拓史、用水開削の困難さ、市川五郎兵衛の偉業を後世への伝承。</li> <li>・水路の歴史的背景、重要さを学ぶことで、ひいては農業用水がどのような困難の上にひかれたのかを知ってもらい、地域農業への愛着を持ってもらいます。</li> </ul> <p>五郎兵衛用水については、佐久市内の小学校でも広く取り扱われており、改良区や記念館にも数多くの問い合わせがあります。その多くは県外からの来訪者が多数を占めているのが現状です。これに対し周辺地域への啓発活動を行う事で、市内からの来場者の増加目指します。</p> <p>&lt;事業における市の役割分担&gt;</p> <p>小学校、市民へ 講演 パンフレット等のアピールをお願いします。</p>